

竜神伝説

(竜王山)

およそ1700年の昔、九州の日向国でクマノという豪族が暴れ回っていた。



仲哀天皇は討伐のため、紀州から軍船に乗り込み、日向に向かった。



瀬戸内海を西へ進み、小野田の本山岬にさしかかったころ、空に黒い雲が広がりはじめたかと思うと、強い風も吹き出し、波もうねり始めた。



軍船は波にもまれ、方角もわからなくなり、みな離ればなれになってしまった。これを驚いた天皇は、海神に向って祈り始めた。



竜王山公園の桜



スペイン料理レストラン



きららガラス未来館



竜王山周辺の施設

きらら交流館

きららビーチ焼野の宿泊研修施設「きらら交流館」は、宿泊室や研修室、トロン温泉などを備えています。自然を身近に感じながら、研修や学習体験などができます。

☎0836-880-0200
毎週月休館（ただし月曜日が祝日の場合は翌日以降の祝日でない日）
9時～22時

きららガラス未来館

山陽小野田市からガラス文化を発信しようとする平成16年（2004）に焼野海岸にオープンしました。竹内博治氏の作品や国内の現代ガラス作家の作品がたくさん展示してあります。入場は無料です。また、吹きガラス体験やとんぼ玉作りなど様々な体験が楽しめます。

☎0836-880-0064
月・火休館（祝日は開館）
9時～17時

日本の夜景百選



竜王山から望む夜景



竜王山公園オートキャンプ場



そのほかにも、足元にセメントの塊が残っている薬師如来像や、仲哀天皇が創建したと伝わる八大竜王宮があります。昔からこんげん様と呼ばれ、子授けの観音さまとして今も信仰を集める子持御前は、靈験あらたかです。4月19日にお祭りが開かれています。耳観音は、お堂のそばに耳の孔に似た土窟があり、ここを掃除して孔の空いた小石を奉納すると、耳の病気が治ると語り継がれています。

はるか神の彼方から火の玉が現れ、岬のほうへ飛んでいった。あたりは明るくなり、風も波も静まってきた。天皇は「海の神の竜神がお助け下さったのだ。あれは神火に違いない。」と御のほうへ船を進めさせた。

無事に日向国に着いた天皇の一行は、クマノを討伐し、都へ戻る事ができた。



山の頂で天皇は、神石を竜神の御霊として祀ることにした。



岬の近くの山道を登ると、不思議な気の漂う石を見つけ、竜神をお祀りする神石とした。



天皇は竜神をお祀りする場所を、あちこち探し回ったが、ふさわしい場所は見つからなかった。



ヒメポタル

竜王山山頂

赤崎神社

ヒメポタル生息地

もみじ谷

アスレチック

薬師如来像

八大竜王宮 稲荷大明神

耳観音

子持御前神社

子持神社

きららビーチ焼野

きらら交流館

きららガラス未来館